

【保管】

国または都道府県の規則に従って保管すること。
換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
容器は直射日光や火気を避けること。

3. 組成、成分情報

単一物質・混合物の区別 混合物
化学名又は一般名: メンブレンフィルター
成分、化学式、濃度又は濃度範囲、CAS番号及び官報公示整理番号(化審法・安衛法):

成分名	CAS番号	官報公示整理番号	その他
ニトロセルロース	9004-70-0	(8)-176	窒素含有量 1.5%wt
セルロースアセテート	9004-35-7	(8)-165	-

※分類に寄与する不純物及び安定化添加物は「データなし」
国連分類 クラス4.1 等級Ⅱ
国連番号 3270 (ニトロセルロース製メンブレンフィルター)

4. 応急措置

吸入した場合: 該当しない。
皮膚に付着した場合: 該当しない。
眼に入った場合: 直ちに清浄な流水で十分に洗眼すること。異常がある場合は医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合: 水で口をすすぎ、医師の手当、診断を受けること。
症状が続く場合も、医師の手当て、診断を受けること。
予想される急性症状及び遅発性症状: データなし
応急措置をする者の保護: 救助者は、状況に応じて適切な眼、皮膚の保護具を着用する。
医師に対する特別な注意事項: データなし

5. 火災時の措置

消火剤: 大量の水噴霧、泡消火剤、乾燥砂類など。
使用してはならない消火剤: データなし。
特有の危険有害性: 熱、衝撃、摩擦、及び静電気により爆発するおそれがある。
特有の消火方法: 火災の場合には区域より退避させること。
火災が爆発に至ったら消化しないこと。
移動可能な場合は容器を速やかに安全な場所に移すこと。
ただしすでに熱にさらされている場合は移してはならない。
移動が困難な場合は容器および周囲に散水して冷却すること。
消火後も大量の水を用いて容器の冷却を行うこと。
消火を行う者の保護: 消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項保護具及び緊急時措置: データなし。
環境に対する注意事項: データなし。
回収、中和: データなし。
封じ込め及び浄化の方法・機材: データなし。
二次災害の防止策: データなし。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い
技術的対策: 『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、必要に応じ保護具を着用する。
局所排気・全体換気: 『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。
安全取扱いの注意事項: すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
接触、吸入又は飲み込まないこと。
空気中の濃度をばく露限度以下に保つために排気用の換気を行うこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
接触回避: 『10. 安定性及び反応性』を参照。
衛生対策: 取扱い後はよく手を洗うこと。
保管
技術的対策: 保管場所には取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。
混触危険物質: 『10. 安定性及び反応性』を参照。
保管条件: 施設して保管すること。
容器包装材料: 包装、容器の規制はないが密閉式の破損しないものに入れる。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度: データなし。
許容濃度: データなし。
設備対策: 必要に応じて講じる。
保護具
呼吸器の保護具: 必要に応じて適切な呼吸器保護具を着用すること。
手の保護具: 必要に応じて適切な保護手袋を使用すること。
眼の保護具: 必要に応じて適切な個人用の眼の保護具を使用すること。
皮膚及び身体の保護具: 必要に応じて適切な保護衣、保護面を使用すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态、形状、色など:	固体、多孔質な膜。白色。
臭い:	無臭
pH:	データなし
融点・凝固点:	データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲:	データなし
引火点:	該当しない
爆発範囲:	該当しない
蒸気圧:	データなし
蒸気密度(空気 = 1):	データなし
比重(密度):	データなし
溶解度:	水に対して不溶
オクタノール/水分配係数:	データなし
自然発火温度:	データなし
分解温度:	データなし
臭いのしきい(閾)値	データなし
蒸発速度(酢酸ブチル = 1):	データなし
燃焼性(固体、ガス):	データなし
粘度:	データなし

10. 安定性及び反応性

安定性:	通常の手扱いにおいては安定。
化学的安定性:	通常の手扱いにおいては安定。
危険有害反応可能性:	水酸化アルカリ、フッ化水素、フッ酸等と危険な反応を生じる。 火気などにより、発火する。 酸化剤、酸、塩基、可燃剤との接触により、急激に発火・爆発することがある。 打撃、静電気、衝撃、熱により、急激に発火・爆発することがある。 高温、高湿下において酸化しやすく、自然発火する可能性が高くなる。
避けるべき条件:	火気、高温・高湿、打撃、静電気、衝撃、熱
混触危険物質:	酸化剤、酸、塩基、可燃剤
危険有害な分解生成物:	窒素酸化物

11. 有害性情報

急性毒性:	経口: データ不足のため分類できない。 経皮: データ不足のため分類できない。 吸入(粉じん/ミスト): データ不足のため分類できない。 吸入(ガス/蒸気): データ不足のため分類できない。
皮膚腐食性・刺激性:	データ不足のため分類できない。
眼に対する重篤な損傷・刺激性:	データ不足のため分類できない。
呼吸器感受性又は皮膚感受性:	データ不足のため分類できない。
生殖細胞変異原性:	データ不足のため分類できない。
発がん性:	データ不足のため分類できない。
生毒性:	データ不足のため分類できない。
特定標的臓器・全身毒性 (単回ばく露):	データ不足のため分類できない。 (ニトロセルロース)経口摂取による中毒は、発現が速く持続時間が短いことを除きエタノールと類似しており(HSDB (2003))、吸入した場合はめまい、多幸感、中枢神経系の抑制、または、呼吸困難、意識喪失を起こす可能性があるとの記載(HSDB (2003))があるが具体的な報告はない。
特定標的臓器・全身毒性 (反復ばく露):	データ不足のため分類できない。
吸引性呼吸器有害性:	データ不足のため分類できない。

12. 環境影響情報

水生環境急性有害性:	データ不足のため分類できない。
水生環境慢性有害性:	データ不足のため分類できない。

13. 廃棄上の注意:

残余廃棄物:	廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。 廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。
汚染容器及び包装:	容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規則	
陸上規制情報	ADR/RIDの規定に従う
UN No.	UN 3270 (但し、A122により適用除外)
Proper shipping name	NITROCELLULOSE MEMBRANE FILTERS
Class	4.1

Packing group	II
海上規制情報	IMDGの規定に従う
UN No.	UN 3270 (但し、A122により適用除外)
Proper shipping name	NITROCELLULOSE MEMBRANE FILTERS
Class	4.1
Packing group	II
航空規制情報	IATAの規定に従う
UN No.	UN 3270 (但し、A122により適用除外)
Proper shipping name	NITROCELLULOSE MEMBRANE FILTERS
Class	4.1
Packing group	II
国内規制	消防法、船舶安全法、航空法の規定に従い輸送する。
国連番号	UN 3270 (但し、A122により適用除外)
品名	ニトロセルロース製メンブレンフィルター
クラス	4.1
等級	II
特別な安全対策	輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。重量物を上積みしない。

15. 適用法令

労働安全衛生法	(ニトロセルロース) 危険物・爆発性の物(施行令別表第1第1号) 名称等を通知すべき危険物及び有害物 (法第57条の2、施行令第18条の2別表第9) No. 424
消防法	非該当
毒物及び劇物取締法	非該当
危険物船舶運送及び貯蔵規則	可燃性物質類・可燃性物質(危規則第3条危険物告示別表第1)
航空法	可燃性物質類・可燃性物質(施行規則第194条危険物告示別表第1)

16. その他の情報

参考文献

NITE 化学物質総合情報提供システム

厚生労働省 職場のあんぜんサイト

※記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データにもとづいて作成しておりますが、すべての情報を網羅しているものではありませんので物理化学的性質、危険有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。全ての製品にはまだ知られていない危険性を有する可能性があります。